

『PCA 法定調書シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.65 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

FKM_S_251125

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◇ 公益法人会計の新会計基準（令和7年施行）対応

- 令和7年施行の公益法人会計新会計基準に対応しました。
 - 『PCA 公益法人会計シリーズ』を令和7年施行基準の領域に切り替えた場合、『PCA 法定調書シリーズ』で連動先を設定しなおす必要があります。
 - 「会計連動」（公益→法定調書）の連動の場合、再設定時に連動コード設定を新規読込（クリア）か再読込を選択できます。
 - 「会計連動（仕訳作成）」（法定調書→公益）の連動の場合、平成20年施行基準領域で仕訳を転送済みでも令和7年施行基準領域に変更できます。
- ※ 変更の際には、転送済みの仕訳データを「仕訳データの作成」からは削除できなくなります。ご注意ください。
変更後に仕訳データ設定を新規読込（クリア）か再読込を選択できます。

◇ 税制改正対応

- 特定親族特別控除の創設に対応しました。
- 令和7年の給与所得の源泉徴収票（給与支払報告書）の様式変更に対応しました。
- 令和8年の退職所得の源泉徴収票の様式変更に対応しました。

◇ 「随時」－「会計連動」－「連動コード設定」

- すべての科目属性の科目を設定できるようになりました。

■ 互換性に関する変更点の有無について

<<データ領域の更新について>>

下記のデータ構造を追加・拡張したため、データ領域のバージョンを「2.45」に更新します。

- 社員情報（拡張）
- 社員情報（家族）（拡張）

<<汎用データの更新について>>

社員情報のデータ構造を拡張したため、バージョンを「5」に更新します。

- 12月支給状況、特定親族(源泉控除あり)、特定親族(源泉控除なし)を追加

社員情報（家族）のデータ構造を拡張したため、バージョンを「5」に更新します。

- 扶養区分、所得の見積額（退職所得除く）を変更
- 所得の見積額を追加

給与所得の源泉徴収票のデータ構造を拡張したため、バージョンを「7」に更新します。

- 特定親族特別控除の額を追加

退職所得の源泉徴収票のデータ構造を拡張したため、バージョンを「5」に更新します。

- 番号（1行目）、番号（2行目）、番号（3行目）を追加